

2015年9月吉日

## 目標を高く掲げて努力積む頼もしきかな君よ輝け

～全国の大学受験生（3年生）への呼びかけ～（第2報）

京都光華女子大学 学長 一郷 正道  
副学長兼こども教育学部長 若井 彌一  
こども教育学科長 北岡 宏章

時は流れて秋

暑い夏が続きましたが、ようやく秋らしい気候に変化しつつあるようですね。

“秋来ぬと 目には 清かに見えねども 風の音にぞ驚かれぬる”（藤原敏行 作）

皆様には、夏の暑さにも気持ちを緩めることなく、秋を迎えられたことでしょう。京都光華女子大学（以下「本学」と略称）のHPにアクセスしていただき、ありがとうございます。この8月上旬に、「全国の国・公・私立高等学校長及び進路指導担当教員の皆様へ（第一報）」というタイトルにより、幾分かしこまった文章で、校長先生、進路指導担当の先生向けの御案内とお願いを兼ねた最初のメッセージをお届けしたところです。それからもう1か月近くの日々が過ぎ去りました。「光陰矢の如し」（Time flies like an arrow.）を実感致します。皆様もおそらく同じような心境で日々を送られていることでしょう。

### 幼児教育系・教員養成系を目指すなら、是非本学のこども教育学部へ

さて、今回のメッセージでは、ズバリ、幼児教育系・教員養成系への大学進学について、漠然とあるいは強い希望を抱いている皆様に、「それならば、是非、京都光華女子大学こども教育学部も受験対象に」という、やや的を絞った内容で御案内をしてみたいと思います。

我が国だけでなく、どこの国でもそうなのですが、職業選択（希望）には、「時代の流れ」とでも称すべきいくつかの傾向が見られます。その一つは、幼児教育や小学校教育の分野・領域で頑張りたいと思う青年（若者）が比較的安定した「頼もしい集団」を形成していることです。

本学では、短期大学部にこども保育学科を設置して、保育士・幼稚園教員の養成において実績を上げて参りました。そして、本年度から新たに、小学校教員養成に本格的に取り組むことが認定され、既に第1回生（60名）が入学して、意欲的に学んでおります。

本年度入学の第1回生の元気な学びの様子については、本学のHPにより配信しておりますが、さらに魅力のある内容に工夫して、受験生の皆様の関心と意欲に訴え、それを継続できるように配慮していきたいと、こども教育学部の教員一同張り切っております。

す。どうぞ御期待下さい。

### **本学部での教員養成で重視している取組**

新学部・学科である以上、新たに取り組む目標・課題を掲げるのは当然の責務ですね。より詳細については、本学の『こども教育学部・こども教育学科』（最新のパンフレット）をご覧くださいなのですが、概略を述べますと、こども教育学部は、「こども教育学科」の単一学科で構成されており、そこに二つの教育コース、即ち「学校教育コース」と「幼児教育コース」が置かれています。そして、入学生は各人の希望選択により学校教育コースか幼児教育コースのいずれかに所属します。

学校教育コースの学生は、小学校教諭免許状（1種）と幼稚園教諭免許状（1種）を取得することが期待されており、加えて、努力すれば保育士の資格取得も可能です。

他方、幼児教育コースの学生は、先ず、幼稚園教諭免許状（1種）と保育士資格を取得することが期待されており、更に余力があれば小学校教諭免許状（1種）を取得することも可能です。

入学した一年目（初年次教育の一年間）は、緊張感ある充実した日々を送ることになりますが、無用な心配はしなくて結構です。教育・研究経歴豊かなスタッフ（2名）を含む「コモンズ」と呼ばれる支援体制が整備されており、学校教育コースと幼児教育コースの場合、4人の職員が学生の学びをしっかりとサポートしてくれます。

### **早期からの現場体験と学問的な学びの両面的取組**

保育・教育、医療、看護、福祉など、世の中には様々な専門分野・領域がありますね。これらの分野・領域で活躍していくためには、専門的な知識と技能を総合的に鍛えていくことが必要です。多くの時間をかけて鍛えていくのですが、いかに（どのように）すれば少しでも効果的な学びとなるかを意識し、工夫しながら進めていくことが必要です。

その有効な方法として、保育・教育について言えば、いわゆる保育・教育の現場で直接的な体験をすることと、理論的に集中・整理していく知的能力のレベルアップを目指す取組を交互に組み合わせていくことが考えられます。本学では、1年次の段階からブレ・インターンシップと呼んでいる体験的学習に親しんで、「経験知」を広め深めると共に、工夫された授業で「学問知」を豊かにしていくプログラムにより学生が高度なレベルで活用していける専門職的学力を身に付けるように配慮しています。同一学園による幼稚園、小学校等、密接な連携協力校が整備されていることは大きな強みとなっています。意欲を持って学んで行けば、幼児教育や小学校教育等で信頼される先生となるに必要な諸能力を比較的効果的に身に付けていくことが可能です。

### **ベストなキャンパスロケーションと教育研究環境**

今や高等教育はご両親にとって相当な出費です。同じくお金をかけるなら、学びの効果を実感できる、より充実した4年間であってほしいと願います。本学は「光華女子学園前」のバス停（京都市営バス、京都バス、京阪京都交通バス）で降りてすぐ、又は京都の中心四条河原町から阪急電車に乗って7分、「西京極駅」で降りて徒歩約7分で大

学キャンパスに着くという、交通の利便性が高いことが大きな特徴です。こうした立地を利用し、自らの足で歩きまわって、伝統と歴史のある京都（しかし、意外に新しいもの好きの側面のある京都）の社会と文化も学び、学生の街京都で他の大学の授業を受けたり、他大学の学生と交流する機会を持ったりして、自らを意欲的積極的に磨きましょう。

また、光華女子学園のキャンパスには、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、短期大学、大学、大学院が調和を保って配置されています。学びの環境としては、恐らくベストのランクに属する大学と評しても誇張にはならないと思われまます。

### **奨学制度も充実しています。是非活用を！**

先に、大学教育を受けるには多額の費用がかかると言いましたが、今日では、様々な奨学制度が整備されております。

また、全国的、各都道府県的な規模の奨学制度だけではなく、各大学独自の奨学制度を運用していることも珍しくありません。

真剣に意欲を持って、学ぼうとすれば夢や希望が実現する可能性は高いと思われまます。

本学では、「こども教育学科特待生奨学金制度」を実施しております。新設学部の設置に伴い、全国都道府県の各地の高等学校から意欲のある、資質能力の高い人々に学んでいただき、この国の将来的発展に寄与したいと念じております。どうぞ、この奨学金制度の趣旨を理解され、多くの方々がチャレンジして下さることを願っております。

このメッセージに感ずるところがあつて、皆様の今後の高校生活の充実にいささかなりとも資するところがあれば望外の幸せであります。御健闘を心からお祈りいたします。

**Practice makes perfect！** この名言を忘れず、目標に向かって精進しましょう。

追伸 受験のご準備に際し、参考活用していただきますよう、主な入試日程を掲載いたしましたので、是非お役立てください。

	出願期間	試験日	
公募制 推薦入試	2015年10月5日（月）	A日程	2015年11月3日（火）
	～10月23日（金）	B日程	2015年11月4日（水）
一般入試	2016年1月4日（月）	前期A日程	2016年2月2日（火）
	～1月22日（金）	前期B日程	2016年2月3日（水）

※上記日程以外にも入学試験は実施いたします。詳しくは、本学発行の「2016 入試ガイド」または、本学ホームページ「入試情報サイト」にてご確認ください。

お問い合わせやご相談は、下記までお願い致します。

〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町 38  
京都光華女子大学入試広報部 TEL 075-312-1899 E-mail: jk2@mail.koka.ac.jp